

修士課程

外国語科目の履修について

人文科学研究科では、研究の視野と理解をひろげるため、また、研究上のツールの養成として、複数の外国語科目を設置しています。2015年度まで「独語」「仏語」「英語」「露語」として設置してきた科目群については、2016年度より哲学専攻、英文学専攻、史学専攻の主催する専門科目として位置づけることにしました。また、新たに国際日本学インスティテュート主催の専門科目として「日本語」科目群を設置しました。自身が所属する専攻・インスティテュートが開講する外国語科目は自専攻・インスティテュート科目として、他の専攻・インスティテュートが開講する外国語科目は他専攻・インスティテュート科目として履修することができます。2018年度の開講科目と担当者は一覧のとおりです。

(1) 2015年度以前の入学者の方（哲学・英文学・史学・地理学専攻のみ ※国際日本学インスティテュートを除く）

- 哲学・英文学専攻：2015年度以前の入学者も、2016年度より外国語科目の必修要件を廃止とします。
- 史学専攻：2011年度より、外国語科目の必修要件を廃止しています。
- 地理学専攻：外国語科目に関する履修条件に変更はありませんが、2015年度まで開講されていた外国語科目に代えて、下記の外国語科目を履修することができます。またその場合には、下記の外国語科目を修了単位に含めることができます（地理学専攻の「履修上の注意」もあわせて確認してください）。

(2) 「日本語論文作成実習Ⅰ・Ⅱ」「日本語論文作成基礎AⅠ～Ⅳ」「日本語論文作成基礎BⅠ～Ⅳ」の履修について

- 標記科目は留学生を対象とします。
- 標記科目を履修する場合、4月のオリエンテーション期間中に実施されるプレースメントテストを受けてください。その成績により、「日本語論文作成実習Ⅰ・Ⅱ」「日本語論文作成基礎AⅠ～Ⅳ」「日本語論文作成基礎BⅠ～Ⅳ」のいずれを履修するかが決まります。
- 「日本語論文作成実習」を履修することになった学生はそのⅠとⅡを、「日本語論文作成基礎A」を履修することになった学生はそのⅠ～Ⅳを、「日本語論文作成基礎B」を履修することになった学生はそのⅠ～Ⅳを、それぞれ指定されたクラスで受講してください。「日本語論文作成実習」「日本語論文作成基礎A」「日本語論文作成基礎B」を組み合わせたかたちでの履修はできません。
- 秋学期に入学する研修生、委託研修生、特別研修生等は標記科目を履修することができません。日本語作文にかかわる授業の履修を希望する場合、「日本文学・国際日本学論文作成基礎実習」（日本文学専攻・国際日本学インスティテュートにおいて開講）を履修してください。

人文科学研究科外国語科目一覧

開講専攻	授業科目	担当教員名	単位	備考
哲 学	哲学ドイツ語研究 1	笠 原 賢 介	2	
	哲学ドイツ語研究 2	笠 原 賢 介	2	
	哲学フランス語研究 1	酒 井 健	2	
	哲学フランス語研究 2	酒 井 健	2	
英文学	Academic English (Effective Writing) A	安 部 義 治	2	
	Academic English (Effective Writing) B	安 部 義 治	2	
	Academic English (Oral Presentation) A	安 部 義 治	2	
	Academic English (Oral Presentation) B	安 部 義 治	2	

開講専攻	授業科目	担当教員名	単位	備 考
史 学	外書講読Ⅰ	池 本 今日子	2	史学専攻の授業科目。外国語科目の代替科目として他専攻学生の履修可能。
	外書講読Ⅱ	池 本 今日子	2	
国際日本学 インスティテュート	日本語論文作成実習Ⅰ	山 中 玲 子	2	
	日本語論文作成実習Ⅱ	山 中 玲 子	2	
	日本語論文作成基礎 AⅠ	幸 田 佳 子	1	
	日本語論文作成基礎 AⅡ	中 島 久 朱	1	
	日本語論文作成基礎 AⅢ	幸 田 佳 子	1	
	日本語論文作成基礎 AⅣ	中 島 久 朱	1	
	日本語論文作成基礎 BⅠ	高 野 愛 子	1	
	日本語論文作成基礎 BⅡ	中 島 久 朱	1	
	日本語論文作成基礎 BⅢ	高 野 愛 子	1	
日本語論文作成基礎 BⅣ	中 島 久 朱	1		